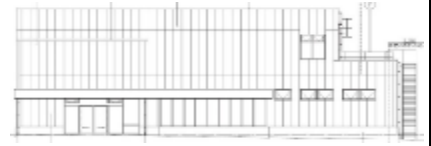


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)キリン堂 枚方宮之下店 新築	階数	地下1F、地上2F
建設地	大阪府枚方市宮之下町, 香里ヶ丘	構造	RC造
用途地域	第二種住居地域、第一種中高層住居	平均居住人員	200 人
地域区分	6地域	年間使用時間	3,650 時間/年(想定値)
建物用途	物販店,病院,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年03月 予定	評価の実施日	2023年09月16日
敷地面積	1,498 m ²	作成者	角豊
建築面積	767 m ²	確認日	2023年09月23日
延床面積	2,108 m ²	確認者	寺西 豊彦



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.6 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

0 46 92 138 (kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.3

Q1 室内環境 Q1のスコア = 2.3

音環境	2.6
温熱環境	1.7
光・視環境	2.9
空気質環境	2.4

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 2.7

機能性	2.0
耐用性	2.7
対応性	3.5

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 1.9

生物環境	1.0
まちなみ	3.0
地域性・	1.5

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.0

LR1 エネルギー LR1のスコア = 2.9

建物外皮の	3.1
自然エネ	3.0
設備システ	2.8
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.2

水資源	3.0
非再生材料の	3.3
汚染物質	3.3

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.1

地球温暖化	3.4
地域環境	3.3
周辺環境	2.7

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
ライフサイクルコストの低減に努め、地球環境保護に配慮している。	特になし。	
Q1 室内環境 2.5% ≤ [昼光率]。	Q2 サービス性能 売場の天井高3.6m以上。レストスペースが売り場面積の4%以上。日本住宅性能表示基準「3.劣化の軽減に関すること」で等級2相当。	Q3 室外環境(敷地内) 特になし。
LR1 エネルギー BPI _m = 0.96。	LR2 資源・マテリアル 断熱材、床材: ビニル床シート。躯体+軽鉄+仕上げ材により、躯体と仕上げ材が容易に分別可能。ODP=0、GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率が89%。燃焼機器を使用していない。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R5-0077

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	(仮称)麒麟堂枚方宮之下店 新築工事						
	建設地	枚方市宮之下町,香里ヶ丘						
	用途/区分	物販店 病院 工場						
【評価結果】	CASBEE 総合評価						B-	
①	CO2削減						3	
②	みどり・ヒート アイランド対策						2	
③	建物の断熱性						3	
④	エネルギー削減						3	
⑤	自然エネルギー直接利用						—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—
	エネルギー消費量の報告						報告しない	
【評価項目】								
	項目	評価内容				スコア	評価	
①	CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.4	3	
②	みどり・ヒートアイランド対策							
	生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				1.0	2	
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				2.0		
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				3.0		
③	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				3.1	3	
④	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				2.8	3	
⑤	自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				3.0	—	
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない	
その他								
		技術の名称			考慮事項			
	先進的技術の導入							
	特に配慮した事項	特になし。						